


退職者 NO.122-
こだま会報



発行日：2018年11月15日／季刊第122号
 編集・発行：神奈川県職労連退職者こだま会
 〒231-8588 横浜市中区日本大通り1 県庁地下1階
 発行人：加瀬文隆
 ☎045 (212) 3179 (代) Fax 045 (212) 3178 (代)
 Eメール kodama@kodamakai.sakura.ne.jp
 URL http://tekuteku.jeez.jp

神奈川県自治労連退職者会

人生を
楽しむ
豊かな才能を披露

第24回
ふれあい
手づくり
文化祭

▶杉原克典さんのギターにあわせて
フォークソングを歌う



▶テーブルを囲んで懇談



(中嶋ひとみ)
(2面へ続く)

横浜市従会館で10月27日、神奈川県自治労連退職者会の第24回ふれあい手づくり文化祭が開催されました。明け方まで降っていた雨が朝にはあがり、まずまずのお天気でした。

3階には、パッチワークのタペストリーや古布の草履、美しい刺繍のバックをはじめ、これぞ傑作という写真や絵画、書、鎌倉彫の硯箱、木象嵌などが展示されました。「こだま

句会」の俳句や絵入りの川柳、絵手紙なども、なるほどな一と思われる作品でした。

4階の講堂では、加瀬文隆神奈川県自治労連退職者会会長の挨拶を皮切りに、唄や踊り、フラダンス、詩の朗読、ハーモニカやケーナ、ギター演奏、着物と帯の巻き方を披露するファッションショーなどが行われました。

会場内は懐かしい顔ぶれが一堂に会して、おでんやお弁当、飲み物を飲食しながら、なごやかで楽しい時間が流れていきました。

昨年続き、血圧・体脂肪測定コーナーは人気。今年は囲碁・将棋コーナーが設けられ、詰碁を楽しむ人も。そして退職者会の会長・副会長自らがカラオケを披露するなど、熱のこもった文化祭になりました。

90歳代までの皆さんが、サークルなどで自己研鑽され、人生を楽しもうとしている姿にパワーをもらう一日でした。



▲熱唱する榎本勝雄さん

散*歩*道

「おかえり」「ただいま」
 今日も元気に子どもたちが学校から帰ってきました。

◆私が母校の小学校の子どもたちの見守り活動を始めて6年目になります。きっかけは退職後、地域で何か役に立ちたいとの思いがあり、ちょうど小学校時代の同級生から、町内会の有志で、子どもたちの安心・安全を守るため、下校時に見守りをしているので、一緒にやらないかと誘われ、仲間に入れてもらいました。

◆子どもたちが学校での1日を終えて帰り道、「お帰り」と声をかけます。最初はだまって通り過ぎてゆく子ども、何回か声をかけ続けることで、「ただいま」と挨拶を返してくれるようになると、思わずニコツとしてしまいます。

◆見守りは、学校が休校でない限り活動しますので、いつもの顔が見えない子どもがいると、風邪でも引いたのか、と心配しますが、また元気な顔に会えると安心します。

◆また地域の方とも、挨拶を交わしていくことで顔見知りになり、地域の安心・安全にもつながっています。

見守りに照れる笑顔の入学児

(瀧澤正行)



俳句や川柳、鎌倉彫など



フラダンスを披露する高橋和江さん



詩を朗読する植木真理子さん

手づくり文化祭より



油絵や水彩画

(1面より続く)

戦争法強行可決3年目 9/19



安倍内閣退陣をアピールするこだま会の皆さん

広がる反対運動のうねり

9月19日は戦争法強行可決の日から3年目の日。こだま会は「戦争法から3年、安倍9条改憲NO! 沖縄・辺野古新基地建設阻止! 9・19日比谷野音集会」に約20人の会員が参加しました。
2015年9月19日、国民の多数

が審議は尽くされていないと考えている中で、戦争法が強行可決されました。
その前月8月30日には市民12万人

による国会包囲の抗議行動があり、こだま会からも33人の会員がこれに参加しました。そして、

その後3年が経ちましたが、反対行動の大きなうねりは3000万署名や毎月の国会行動などで拡大しています。

こだま会も毎月19日の国会行動に必ず10人前後の会員が参加し、戦争法廃止、安倍内閣退陣、辺野古新基地建設反対、原発反対を訴えてきました。

この間の安倍政権の動きを見ると、憲法9条改憲の目論見、軍事費の6年連続過去最高の更新、オスプレイの日本全国への配備、ステルス戦闘機F35の導入、護衛艦『いずも』の空母化の検討、イージスアショアの配置決定、PKOへの駆けつけ警



日比野野外音楽堂は人・人・人

護任務の付与、国連が統括していないシナイ半島の「多国籍軍・監視団」への自衛隊員派遣検討など、政策全体を見れば、軍事大国化や戦争ができる国造りをしていることは明確で、戦争法制定の意図がはっきりしてきます。

この日の日比谷野外音楽堂は超満員で場外に大勢の人があふれ、参加者は4800人に上りました。壇上から、立憲民主党、日本共産党、国民民主党、社民党、無所属の会の国会議員、学者の会の上野千鶴子氏、沖縄から参加の山城博治氏の力強い決意表明がありました。

いまの日本は、自民党政権による巧妙な宣伝活動や締め付け、教育政策などにより、軸足が右側に傾きかけており、このままでは民主主義、立憲主義、平和主義がなし崩し的に壊されていくのではないかと感じています。

こだま会は今後も毎月19日の国会行動に必ず参加します。会員の皆様も、民主主義、立憲主義、平和主義を守り、戦争法廃止を訴えるためにぜひ参加されるようお願いいたします。

(友井眞言)

こだま俳壇(10月)

柿熟るる村に自省の満蒙館
小川 水草

大漁旗賑わう浜の秋高し
友井 眞言

冬瓜のとりりスーブのうすみどり
三井 光子

朝市の茸両手に山の宿
松尾佐知子

鈴虫の空家の庭で鳴き止まず
島田多嘉子

秋の夜の救急の音長きかな
白井保次郎

栗ごはん我は幾つとさわぐ子ら
本山 文子

渋皮を剥く母の手早さ栗御飯
角田 英昭

栗の実をそつとなでてる赤子の手
中村 桂子

人よりも先に柿食う雌の猿
高橋 和江

どんと置く一升瓶や友と月
田中 一男

秋刀魚焼き高値の夕食煙にまく
後藤 貞夫

野分あとデニール勝利のカチャーシー
鳥海 敏雄

勝ち栗を慰問袋に入れし頃
木村 武子

田圃見る翁はひとり鯛雲
柳瀬 節子

釣竿のまわりにでつかい緋鯉かな
井村 友彦

台風過辺野古を守る民意勝つ
瀧澤 正行

第67回 歴史教室 (散策)

三浦一族の歴史を歩く②

歴史教室の散策「三浦一族の歴史を歩く②」が10月25日実施された。朝10時に京急線「北久里浜」駅に講師も含め総勢10人が集合した。駅

前広場で、自己紹介とラジオ体操をして、バスで出発。岩戸で下車し、満願寺をめざす。

ここは三浦一族の佐原十郎義連が平家追討の際に、等身大の仏像を納めて戦勝祈願し、願満ちた故に号したという。まず義連



▲怒田城址にて



▲満願寺には源平合戦で鶴越の坂を駆け下りた佐原義連の墓がある

の墓前に詣でて、宝物庫の重文像を拝す。ついであるが、義連はその後、奥州藤原氏追討に従い、恩賞として福島会津四郡の地頭職に補佐され、芦名氏と名乗り、子孫は伊達政宗に滅ぼされるまで約

400年続いている。次は佐原城の予定だったが、時間の都合と、見通しの悪いところに碑のみだけなので、省略する。いったんバスで「北久里浜」へ戻り、タクシー分乗で怒田城をめざすが、バス停「内川新田」が伝わらず、2台が地名「内川新田」へ廻り、時間お金も倍かかるというハプニングが起きてしまった。

ようやく全員が揃い、城をめざす。入口の横須賀市の案内板には、吉井貝塚の表記が主で、怒田城の説明は少しのみ。緩やかな階段を登ると台地が広がり、かつては縄文人住居跡も。

衣笠城攻防時に、和田義盛はここに籠ることを提案するが、三浦大介は、「有名な地で死なん」と衣笠城に籠った話は有名で、怒田城は入江の崖の上にある出城であった。

予告!! 予告!! 予告!!

●楽しい料理教室
とき 11月29日(木) 11時~15時
ところ フォーラム南太田・調理室(横浜市男女共同参画センター横浜南・京急「南太田」下車3分)
会費 2000円(エプロン・帽子・タオル持参)
講師 飯塚武弘会員
内容 旬の野菜&とれたて魚料理
申込先 ☎070(4061)5741(仲戸川)又はこだま会事務所 ☎045(212)3179(火曜日のみ)

●俳句サークル「こだま句会」
月例会 第2木曜日13時~
12月13日(木) 1月10日(木)
ところ 県庁本庁舎地下1階(県労連会議室)
指導 太田士男先生(俳人協会)
会費 800円(投句のみ500円)
申込先 こだま会事務所 ☎045(212)3179(火曜日のみ)

●食文化を楽しむ会(薬膳料理)
とき 12月6日(木) 11時~15時
ところ 西地区センター(横浜駅西口徒歩10分)
内容 風邪予防の薬膳料理
講師 亀井禎子会員
会費 1800円
申込先 こだま会事務所 ☎045(212)3179(火曜日のみ)

今は樹木が繁り、海も埋立地も見えず、街区が見える所で、思いを廻らせてから、ゆっくりバス停まで戻って、近くで昼食をとり、2時半すぎに解散した。(吉田綾子)



-51-



野地寿子さん

現役時代は病院職場で、退職後は福島で活躍中の野地寿子さんに、「キューバの旅」を書いていただきました。



6月3日から9日まで、神奈川県職労連主催の「キューバ」へ旅する機会に恵まれました。20年以上続けられているツアー。私は今回初めての参加です。(なんと定年になり、休みがとれたからです)

時差12時間、羽田を出発して20時間。ようやくハバナに夜中の11時着。中南米の、少しの蒸し暑さを感じながらホテルへ。

魅力一杯キューバの旅

野地寿子さん (福島県在住)



首都ハバナにある大聖堂の前で

を担っていました。

6月5日、パラデロ市内へ。昼食は、カポネの海辺の別荘、あのゴットファーザーの映画に出ていたような？ 場所でした。夜は高級リゾートホテルで、モヒート。飲み放題。(満足!!)

チェ・ゲバラとヘミングウェイ

6月6日、革命の地、サンタクラ

教育費・医療費は無料

教育は、義務教育から大学まですべて無料。医療費も歯科から美容整形まで無料。高齢者介護施設も無料とのこと。

国内の医師数5万5000人。(国民2000人あたり1人と世界のトップクラス)、近隣国や災害国へ派遣

ラへ。チェ・ゲバラ記念霊廟、革命広場、装甲列車襲撃記念碑、カピロの丘へ。革命の広場はメーデーが行われ、一番高い所に立っているチェ・ゲバラは、アメリカを見続けていました。

6月7日、ヘミングウェイ博物館(本人の住宅)から、漁村のヘミングウェイ行きつけのレストランで昼食。キューバの音楽の生演奏も聞きました。

6月8日、朝5時ホテル発で帰国の途に着きました。7日間天気恵まれ、海の青さがまぶしく、小さな国がスペインから独立し、大国アメリカと闘い、勝利して社会主義の道を歩んでいます。スーパーに物がほとんどない、食料や生活用品は配給など。しかし物に溢れた日本、物や自然には限りがあるということ、福島原発事故以来考えないわけにはいかない私にとっては、とても魅力でした。

観光に力を入れるキューバ

現在、キューバは観光に力を入れており、これからどんどん変わっていくような気がしました。今回貴重な思い出を作ることができました。

また、この場を借りて、日頃より「福島」のことに心配りをいただいている皆さまに感謝申し上げます。

おすすめの1冊



『君たちはどう生きるか』

吉野源三郎著

主人公のコペル君は中学2年生です。コペル君と、その友達たちとの物語が主軸となっています。その合間に、コペル君の叔父さんの話がいくつも入っています。それは、コペルニクス風の考え方、ニュートンの天体の話、偉大な人間とは何か、人類の進歩に



岩波文庫 970円+税

役立つとは何か、など。そしてコペル君と、その友達に事件が。友達の浦川君たちを裏切ったコペル君は悩みます。

コペル君はどう己を省みたのか？ この物語は戦時中、日本少国民文庫の一巻で「少年少女にヒューマニズムを」として出版され、戦後再刊。

いまも本屋さんの店頭にある同名のマンガ本と併せて250万部を超えている。若者に立ち返って一読するのもどうでしょうか。

(Y・I)

横田基地 ウォッチング

神奈川県職員 九条の会



▲黒くて大きなオスプレイを見る



▶低空飛行する
オスプレイ

日本でも どこでも オスプレイはノー

神奈川県職員九条の会は9月15日「横田基地ウォッチング」を実施。参加者は10人。当日は「横田基地日

米友好祭」の期間であり、通常では入れない横田基地に入ることができました。

事前に、地元
の平和団体から
横田基地の説明
を聞き入場。ま
ずはゲートで厳
重なチェック。
若い家族連れの
人たちなどが

次々と入場します。入場するとすぐに自衛隊勧誘コーナーがあり、若い相談者の姿が目につきました。

眼前に広がる滑走路は3000m以上あり、その大きさにびっくり。滑走路の手前には、ハンバーガーや焼き肉などの



▲地元の平和団体からレクチャーを受ける

店が連なり、まさにお祭りの雰囲気。入場者は数万人か。若い米兵たちが笑顔をふりまいています。「家族連れが多い

ね」とにかく広い。歩ききれないよ」「行けども行けども軍用機ばかりだ」と参加者の声。

* * *

各種の戦闘機やヘリコプター、そして各地で不時着や大破、緊急着陸などを繰り返しているオスプレイ(10月1日に正式配備)も展示され、見学者が長い列をなしていました。しばらくするとオスプレイが飛来。「皆さんを歓迎して、オスプレイがお辞儀しています。ごらん下さい」と大きなアナウンス。みるとオ

神奈川県職員 九条の会 平和のつどい

と き●12月8日(土) 14時~16時15分

ところ●神奈川県会館(紅葉坂音楽堂前)中会議室

電話 045(212)1034

JR・市営地下鉄「桜木町」駅から徒歩10分

テーマ●安倍改憲とメディアの役割

講師●阿部 裕氏(元日経新聞記者)

資料代●500円

問合先●090-2473-2681(佐伯義郎・事務局長)

スプレイが機首を上下しながら飛行し、愛嬌をふりまいています。

* * *

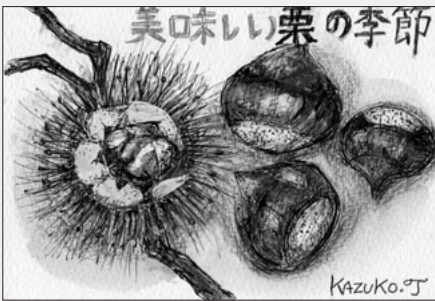
沖縄の普天間基地と同様、横田基地の周辺は、学校や保育園、老人介護施設、病院、住宅などが密集しています。

オスプレイはすでに、厚木・所沢・岩国・北富士演習などで、100回を超える離発着訓練をしているとのこと。首都圏での事故の不安と、競争体制強化への懸念が高まっています。「日本のどこでもオスプレイはいらない」「愛嬌などにだまされないぞ」と実感した横田基地ウォッチングでした。(鳥海敏雄)

絵手紙



奥津弘久さんの作品



田中和子さんの作品

高齢者の特性を活かすとりくみを

全国自治体退職者会連絡会第21回総会



大阪で開かれた総会

大阪市内で8月25日、全国自治体退職者会連絡会第21回定期総会が開かれました。全国から約70人が参加。当会からは、加瀬文隆代表幹事、小島八重子事務局長が出席しました。

経過報告では、20周年記念誌の発行や政府・厚生労働省への要請・交渉の結果報告、『連絡会つうしん』の毎月発行、週1回から2回の事務局長在席体制の維持で全国の活動との連携が図られていることが話されました。

活動方針では、戦争法廃止、憲法9条を守るとりくみの強化。年金引

き下げに反対し、「マクロ経済スライド制」の廃止。消費税増税に反対し、日銀の金融政策を国民生活重視へ転換。後期医療制度の廃止と介護保険制度改悪反対。ヒバクシャ国際署名の推進、原発ゼロ、震災復興、「IR整備法」(カジノ法)に反対など7項目の目標と組織強化・高齢者の特性を活かしたとりくみの展開などが提起されました。

討論では、「超高齢化社会に突入。社会保障と年金問題をどのように考えていくかの方針が必要」(愛知)、「自治労連退職者会も20周年を迎えた。全国的な規模でのとりくみを」(大阪・衛都連)、「介護保険制度の学習会を実施。2カ月に1回800人にDM便を送っている。辺野古に基地をつ

くらせないことを方針に入れて欲しい」(大阪府職)、「小池知事は都有地を地価の10分の1でデベロッパに投げ売り。組合事務所が都庁から締め出され、月1回の幹事会に支障がある」(都職労)、「鎌倉市職労と鎌倉市が和解。報告集会を開く」(横浜市従)、「戦争体験の聞き取りをしている。9月に20回の総会を迎える」(岩手)などの発言がありました。

議案は、すべて全員一致で承認。役員では、当会の加藤利秋氏が引き続き事務局次長に承認されました。最後に「会員の拡大と一層魅力ある退職者会に発展させます」と総会決議が採択されました。なお、来年の開催は東京とのことです。

(小島八重子)

憲法が生きる社会へ

神奈川自治労連退職者会は10月15日、横浜市従会館で第27回定期総会を開きました。

眞次英一(横浜)副会長の司会で開会。加瀬文隆(県)会長の挨拶に続き、来賓の高橋輝雄神奈川自治労連委員長の挨拶を受

神奈川自治労連退職者会第27回定期総会



新方針を決めスタート

け、高須正和事務局長(横浜)が2017年度の経過と決算を報告。続いて会計監査報告を酒井道生さん(県)が報告しました。

質疑討論では、組織強化のとりくみ(横浜)、鎌倉市職労争議の和解のとりくみと仲間づくり(県)などの発言があり

お悔み申し上げます

6月22日の定期総会後に亡くなられた会員です。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。()内は享年。

石渡恵美子さま (87)
田内 大さま (77)
神谷 邦子さま (76)
小俣 有夫さま (87)

〈訂正とお詫び〉
前号(121号)7面「せいかつ短信」の中原保彦さんの住所「島根県三郷町」を「島根県美郷町」に、16面「歴史教室」の「60年に一度のご開帳」を「50年に一度のご開帳」に訂正しお詫びします。

議案を補強しました。

活動方針では、憲法が暮らしに活きる社会の実現や年金、医療・福祉制度の改善要求実現などが提案され、拍手で承認。

また新役員を選出し、元気よく運動をスタートさせました。(鳥海敏雄)

〈新4役紹介〉(敬称略)

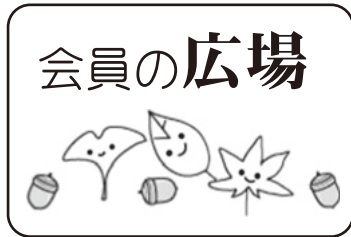
会 長…加瀬文隆(県)
副会長…眞次英一(横浜)
副会長…内田次敏(鎌倉)
事務局長…高須昌和(横浜)
事務局次長…友井眞言(県)

※もうつまずかない 作中 宏
 孫とスケートに行つて転倒、頭を打ちました。コブもたいしたことなく、そのまま過ごしていましたが、3カ月くらい経つて、よくつまずくようになりました。周りからも姿勢が悪くなったなどと言われ、気になり脳神経外科を受診したところ、MRIで硬膜下血腫と診断。すぐに入院手術。頭に穴をあけ溜まった血のドレナージ術(洗い流し)をうけました。もうつまずきません。よく、年を取ると足を引きずったり、つまずきやすくなると言いますが、硬膜下血腫は、原因がわからなくてもなる症状らしいので、気になったら受診するよう周りの人に話しています。

※「せいかつ短信」に思う 友井眞言
 今年の「せいかつ短信」には203人もの仲間が近況を寄せています。皆さんの趣味など楽しく読みました。いまでもフルマラソンを走っている人がいるんですね。

※入会して良かった 石田啓子
 『会報』を楽しみにしています。入会して良かったとつくづく思います。

※地熱の暑さに： 藤原慎一
 台風一過、地熱の暑さが我慢できません。ソーメンばかり食べてはい



られません。ところで、あのモリ・カケは一体どうなったのでしょうか。

※県政・国政に関心を持って 小林平治
 こだま会の第34回定期総会に出席し、特に来賓の挨拶のなかで、知事が独断で組織の改革事業等を決めているとのことを知り、びっくりしました。これからは県政・国政に関心を持って判断したいと思います。これからの機会があれば、こだま会の行事に出席したいと思っています。

※核禁止アベの架け橋脚にひび 佐藤榮一
 初めて応募したパズルに当選とはラッキーです。広島、長崎の和式典の模様をテレビで見ました。安倍総理は挨拶で、被爆国でありながら核禁止条約に賛成を表明せず、「核保有国と非保有国との橋渡し」と逃げる姿勢に怒りを感じ、次のセリフが私の脳裏をよぎりました。核禁止 アベの架け橋 脚にひび。総理は口ぐせに「積極的平和主義」を唱えてきましたが、そのからくりが見えました。

※高齢社会を生きる勇氣 山本秀美
 『会報』の送付ありがとうございます。総会の様子や歴史教室の報告など、また会員の消息や意見・現況など懐かしく読みました。『会報』を見て会員との絆を感じるとともに、高齢社会を生きる勇氣ももらいました。

クロスワードパズルで頭の体操

- ◇応募規定◇
- ①ヒント：2重枠に入った文字をAからEの順に並べてできる文字は？
 - ②回答送付先：231-8588横浜市中区日本大通り1 県庁舎地階 神奈川県職労連退職者こだま会パズル係
 - ③郵便葉書に答え、住所、郵便番号、氏名を記入し、12月15日までに上記②へお送りください。
 - ④賞品：正解者から抽選で5人の方にクオカード進呈します。
 - ⑤発表：次号(2月15日号)

	A	B	C	D	E
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					

- ヨコのカギ
- 1 秋の行楽の一つ 歩行の助けになる○○
 - 2 指輪。エンゲージ○○○
 - 3 月の○○○をはるばると
 - 4 イスラム教の全知全能の唯一の神のこと
 - 5 手数料・税金等を納付したことを証明するために書類などに添付する収入○○○
 - 6 いまはもう○○誰もいない海
 - 7 ○○・現在・未来
 - 8 話を○○○に戻す
 - 9 タテのカギ
 - 10 牛や豚の内臓を野菜とともに
 - 11 煮込んだ料理
 - 12 ○○県の県庁所在地は津市
 - 13 イギリスの作家ジョナサン・スウィフトの風刺物語。『○○○○旅行記』
 - 14 繋げる、結びつける、連係させるなどの意味を持つ英単語
 - 15 人前で恥をかかされた人。○○○者
 - 16 都はるみが歌う『○○○梅は恋の花』
 - 17 こだま会で人気の○○○教室
 - 18 10本の腕がある
 - 19 肉などを煮たときに煮汁の表面に浮き出る白く濁ったもの

前回の答「ナミビール」

ポ	ン	オ	ド	リ	
イ		ナ	ン	ク	セ
ル	イ	ジ		ル	
	ブ		ル	ー	ツ
ア	セ	ビ		ト	イ
マ	ン	ザ	イ		ン

●当選おめでとう●
 抽選で次の5人の方にクオカードを進呈。石田啓子／作中 宏／友井眞言／三井光子／藤巻照久(敬称略)

係から：回答はがきの余白に、本紙についての感想や要望、身近な話題などひとことを。「会員の広場」欄などに掲載させていただく場合があります。匿名の場合は「匿名希望」とご記入ください。

てく・テクの会

満蒙開拓平和
記念館&昼神
温泉バスツアー



▲満蒙開拓平和記念館にて

こだま会「てく・テクの会」は9月27日から28日、「満蒙開拓平和記念館&昼神温泉バスツアー」を実施。参加者は24人。

長野県阿智村にある満蒙開拓平和記念館を訪問の前に、近くの長岳寺に立ち寄る。ここは、中国残留孤児

遠い過去ではない「満蒙開拓」

と肉親の再会に尽力された山本慈昭氏が住職をしていたとのこと。

平和記念館では、ボランティアガイドから展示の説明を受ける。世界恐慌で農村が疲弊するなか、「満州に行けば、20町歩の地主になれる」とそそのかされ、全国から27万人が入植した。しかし現地に行ってみれば、住民から安く買いたたい煙も家も用意された土地が多数あったとか。これは、その目的が満蒙制圧と対ソ国防の防御を目的としたからとのこと。



▲「語り部」の話を聞く



▲宝剣岳の千畳敷カールで

遠い過去ではないと実感した。

「居留民は出来得る限り定着の方針を執る」―昭和20年8月14日 外務大臣訓令。こう記されたキャプションには、8万人の犠牲を出した棄民政策が表現されている。

宿泊は、昼神温泉の湯本ホテル阿智川。阿智村は、星の観察で有名。ほろ酔い気分を外に出てみたが、ホテルの照明であまり見えなかった。翌日は、中央アルプス宝剣岳の千畳敷カールへ。昔の台バスセンターからしらび平までのバス運転手のハンドルさばきに感動。

しらび平から千畳敷カールまでの高低差950メートルをわずか7分30秒で運行するロープウェイに乗り、南アルプスの眺望に感激。紅葉が始まったばかりの千畳敷カールをハイキングした。

惨な逃避行の体験談を聞いた。毎日のようにソ連兵が収容所に略奪と凌辱に訪れる様子、栄養失調で次々と肉親を失っていく悲劇が切々と語られ、思わず涙がこぼれた。参加者には、9歳のときに一人で引き揚げられた方もおられ、改めて

昨年到现在参加だったが、このツアーは3Y(有意義・友好・安い)。黒字になったからと1人当たり2千円が返金され、その良心的な運営に感心した。次回も、楽しみにしています。(川城保幸)

編集 後記

9月30日の台風24号は本当に恐ろしかった。非常に強い大型台風だと言われていたので、私も家の周囲を見回り、対策をとってはいしたが、24時頃にはうなりを伴うような猛烈な風で、ガラス窓が壊れ、屋根やドアが吹き飛ぶのではないかとという恐怖で、家族のそばを行ったり来たりしてしまった。普段はあまり関係がないような家族であっても、こんな時には人がいるっというだけで心強いものだ。

▼翌10月1日は晴天だった。朝、恐る恐る家の周りを廻ると、植木鉢は倒れ、トヨは外れてしまっていた。

▼10月2日10時30分からの編集会議に出かけて行くと、近所の柿の実が、50個ほど落下しており、布製の看板がきれいさっぱりなくなっている店もあった。

▼編集委員のAさんは、家の垣根が壊れたという事で欠席。片瀬海岸のTさんは、東海道線が止まっていたため、大船から遠回りしてようやく到着して編集会議が成立した。

(中嶋ひとみ)